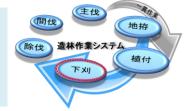


造林作業の省力化 ~下刈の省略にかかる取組~

上川南部森林管理署

森林整備官 地域技術官 妻藤 荘史 佐藤 周平

研究の背景・目的近年、北海道の森林は主伐期を迎え、造林事業量の増加が 予測されています。一方、植付や下刈などの造林作業は作業員の担い手不足が 深刻化しており、作業負担の軽減や機械化・効率化が必要とされています。 当署では下刈作業に焦点をおきつつ、保育作業全体での作業負担軽減を目指す **「造林作業システム」**の構築に向け、省力化の取組を実施してきました。



研究の内容

本研究では、主に下刈機械化と下刈の省略という2つの 課題に対し、平成29年度植栽の複層伐施業箇所において、クラッシャ地拵や クリーンラーチの植栽を通じた取組を進めてきました。(右図参照) 今回は下刈の省略を目指した取組に焦点をあて、現況と見通しを報告します。 新たな地拵方法 新たな植付方法 機械走行が可能

全刈・クラッシャ地拵での生長量調査(トマム252林班)

・H29実施のクラッシャ地拵試験地にてカラマツと クリーンラーチに対する生長量調査を実施した。

<試験地概要>
252ほ林小班(トマム担当区)
复層伐(40m幅帯状皆伐)
H29伐採、地拵、植付
票高:720~750m
上壤:適潤性褐色森林土
下層植生:クマイザサ
植生被度:密
植生高さ:高





- R1までは両樹種ともに被圧による枯死はみられ なかった。
- ・今年度の調査結果に当署管内カラマツコンテナ 苗における3.4年目の成長率を掛けた予測値と、 伐採前の平均的な植生高を比較すると、カラマ ツは3年目に同程度となるが、クリーンラーチは 無下刈で植生高を脱する可能性が示された。

筋刈地拵・カラマツ植栽筒所での下刈省略試験(幾寅3林班)

- ・被圧等による枯死は年1~4本
- 4年目までの生存率は約74%
- 4年目は野鼠被害もみられた
- ・筋刈地拵、カラマツ植栽、無 下刈の条件下での低密度植栽 は枯死のリスクに留意が必要



クラッシャ地拵での植生回復

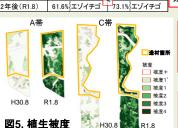
ドローンで撮影し作成したオル ソ画像をもとに方形区法により 地拵1、2年後の被度を調査。 図3. 植生回復状況(A帯)

表2	.帯ごとの破砕条	≥4	+と數厚	
帯	Α		С	
破砕条件	伐根・末木枝条 全て破砕	154 157 -11-11-153514		
破砕物敷厚	最大12cm程度	>	最大5cm程度	

条件	伐根・末木枝: 全て破砕	条		の伐根を破砕 -部伐区外へ				
嫐厚	最大12cm程序	隻 🗦	最大!	icm程度				
表3. 植生被度								
;	A		С					

図4.方形区法イメージ図 敷厚が多いほど被度が低い傾向

1×1方形区



調査年月 被度 主な植生 被度 主な植生

1年後(H30.8) 2.8% クマイザサ 5.1% クマイザサ

造材実施箇所では被度が低く 林縁部や造材作業をしなかっ た箇所で被度が高い傾向



大型機械の踏みつけによる下 層植生抑制の相乗効果...?

・原山ら(2018)の研究結果と比較して、1シー ズン目の植生被度が低い結果となった。被度の 変化にはエゾイチゴの動態が強く影響しており、 地拵を9月に行ったことが、翌夏のエゾイチゴの 抑制に寄与した可能性がある。

下刈省略に関するまとめ

- ・無下刈で更新完了…コンテナ苗成長量調査と植生回復量 調査を行った結果、クリーンラーチとクラッシャ地拵を 併用することで無下刈で更新完了できる可能性を示唆。
- カラマツは要下刈…本調査地では、カラマツや北海道の 主要造林樹種であるトドマツの植栽筒所で、今後の下刈 の必要性が確認された。
 - →これらの樹種の植栽にあたっては下刈機械化と同時進 行を図れる仕様とすることがよい。
- 被圧に留意…クリーンラーチについては「カラマツ以上 に被圧に弱い」(原山ら 第68回北方森林学会)との調 査結果もあることから、下層植生の種類や、全刈以外の 地拵とする場合のかぶりの影響には留意が必要である。

今後の展開

- 造林作業システムとして…今後、下刈の 省力化について上記の取組を行っていく 中で、地拵から保育間伐までのトータル コストを検証していく必要がある。
- 生長量調査…次年度以降も引き続き生長 量調査を行い、下刈の省略について検証。
- 植生回復量調査…下刈省略の観点から、 引き続き植生の回復を確認するとともに、 下刈省略によって成長の阻害要因となる つる性植物の繁茂の可能性にも注視。
- 下刈機械化…クラッシャ地拵箇所で下刈 機械化の取組について検討。

引用•参考文献

原山尚徳・上村章・津山幾太郎・佐々木尚三・山田健・渡辺一郎・宇都木玄(2018):クラッシャ地拵による破砕物の量が下草繁茂に及ぼす影響 植物群落の調査(植生調査)https://www.gifu-net.ed.jp/ssd/sien/gakurvokusougou_suisin/koutokugakkou/koutokuH22/11nougyouH22/svokuseitvousa1.pdf